

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 28 年度第 4 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 28 年 9 月 30 日(金)

15 時 00 分から 18 時 00 分

2. 開催場所 東京大学理学部 3 号館 3 階 320 号室

(東京都文京区本郷 7-3-1)

3. 出席者 理事数 20 名

出席理事 16 名 (定足数 11 名 会議成立)

出席監事 1 名

オブザーバー 6 名

4. 議長 理事 川幡 穂高

5. 出席役員

理事 川幡 穂高

理事 津田 敏隆

理事 田近 英一

理事 古村 孝志

理事 井出 哲

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 千明

理事 奥村 晃史

理事 北 和之

理事 木村 学

理事 倉本 圭

理事 中村 昭子

理事 西 弘嗣

理事 浜野 洋三

理事 原田 尚美

理事 道林 克禎

監事 鈴木 義和

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 高橋 幸弘

大気水圏科学セクションプレジデント 蒲生 俊敬

大気水圏科学セクションバイスプレジデント 佐藤 薫
大気水圏科学セクション幹事 川合 義美
地球人間圏科学セクション幹事 近藤 昭彦
固体地球科学セクションバイスプレジデント 田中 聡

15時00分、理事の定数に足る出席があったので、会長川幡穂高は議長席に着き、理事会が成立することを宣言した。インターネット電話 Skype を利用し、遠隔地から参加する倉本圭理事、高橋幸弘セクションプレジデントが審議に確実に参加できることを互いに確認した。

【前回議事録確認】

第3回理事会議事録について、確認し、了承された。

7. 審議事項

第1号議案 新入会員承認の件(古村孝志理事)

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

会長の提案により総会員数について、年平均した値である「10,000人程度」と記すこととなった。

第2号議案 委員会委員の承認の件(古村孝志理事)

ジャーナル編集委員、ダイバーシティ推進委員、環境災害対応委員、教育検討委員、広報普及委員、大会運営委員、フェロー審査委員、西田賞審査委員を資料の通り承認した。

第3号議案 法人運営基本規則改定の件(古村孝志理事)

法人運営基本規則第5章会費の滞納に対する処分について、第10条2「本法人に再入会する者で、過去に未納会費がある場合は、これを納めなければならない。」の削除に関しては、すでに前の理事会でも議論されており、社員総会、学協会長会議でも反対意見が出なかったことが確認され、これを削除することが承認された。

第4号議案 『次期高等学校学習指導要領による「地学基礎」の内容精選化の提言』について

議案提出者の教育検討委員会畠山正恒委員長が欠席の為、同委員会西弘嗣副委員長より説明があった。提言の内容及び文章に関しては、さらなる検討を必要とすると判断された。これを委員会に戻し、理事会メンバーも含めたメールでの検討を要請することとなった。

第5号議案 「団体社員の体制および規則」について

2017年の社員総会で定款の改定を議事として諮ることを予定している。それに向けての準備として、次回(10月25日開催予定)学協会長会議に提出する、定款の改定案、それに付随する基本規定の改定案、社員総会で定める必要のある代議員数、及び学協会長会議規則等について検討した。

また、新規に設置予定の学協会長会議幹事会に関して、構成及び任務等について議論された。これらについては、次回、学協会長会議で説明し、2017年の学協会長会議で了承を受けた上で、2017年の社員総会に提出する。なお、代議員数の案については、150名として学協会長会議に提案することとなった。

第6号議案 大規模アンケート協力学会取扱いに関する内規のメール審議依頼について
原田理事より、男女共同参画学協会連絡会から依頼のあった、男女共同参画学協会大規模アンケート実施に際する協力学会の取扱い(協力学会の承認、費用、アンケートデータの取扱い)について説明があり、費用負担は求めない、全体の集計結果の報告を行うがデータの提供は行わない、という内容で承認された。

8. 報告事項

(1)川幡穂高代表理事職務報告

7月31日(土)から8月5日(金)到北京にて開催されたAOGSへの出展報告があった。会場の規模や、出展期間中の様子は、来年のJpGU-AGU Joint Meeting2017開催に向けて参考になるとのことだった。

(2)田近英一理事(広報担当)職務報告

田近理事より、2016年11月27日開催の秋の公開講演会「変動する地球 地震・生態系を探る最新研究」について報告があった。

(3)中村正人理事(顕彰担当)職務報告(津田敏隆理事 代理報告)

フェロー募集および西田賞候補者募集が始まり、HPに掲載されているとの報告があった。

(4)古村孝志理事(総務担当)職務報告

古村理事より2016年11月23日に開催される全国フォーラム「2つの非営利法人制度のあり方を考えるフォーラム」に参加し、パネルディスカッションを行うことが報告された。

(5)北和之理事報告(財務担当)職務報告

北理事より、昨年に引き続き、理事会メンバーに、周辺に広く寄附の依頼をお願いしていただきたいとの要請があった(注: 役員の寄附は税額控除法人となるのに必要となる寄附者にはカウントされない)。また、2016年度(平成28年度)決算予想作成について報告があった。各セクション・委員会に、9月30日現在の予算執行状況の確認と年度末までの予算執行見通しについて、依頼メールを送るので、協力して欲しい旨の要請があった。決算見通し(案)については、11月の理事会に提出予定である。また、予算に計上していない新たな支出については提案の受け入れは可能とのことだった。

2017年度(平成29年度)予算書作成について、10月後半に、次年度予算書作成の為に各セクション・委員会に予算提出依頼をする予定であることが報告された。

12月の財務委員会を経て、1月理事会に(案)提出の予定とのこと。

(6)川幡理事・倉本理事(ジャーナル担当)職務報告

川幡会長より下記報告があった。

1. トムソン・ロイター(インパクト・ファクター IF)とエルゼビア(Scopus)に対し、ジャーナル評価指標取得のために、8月にIF、9月にScopusの採録申請を行った。
2. 新規編集委員・ジャーナル企画経営拡大委員が報告され、承認された。
3. セクション・プレジデントの改選に伴い、新セクション・プレジデントにジャーナル企画経営拡大委員の就任を依頼する。
4. 学術会議からの要請により、「PEPS authorship guidelines」を作成した。
5. トムソン・ロイターの日本支社を訪れ、現在の出版会周辺の活動に関する情報を得た。
6. 科学研究費補助金(研究成果公開促進費)に関係して、日本学術振興会を訪れ、個別相談会に出席した。
7. 2017年連合大会 JpGU ジャーナル特別セッション募集を開始したので、積極的に利用していただきたい旨のアナウンスがあった。

(7)木村学理事(グローバル戦略担当)職務報告

1. 木村理事より9月29日に開催されたグローバル戦略委員会の議事録(案)について、グローバル会議で議論されたMission statementの後半部分の文言の改定について「連合は、世界最先端の地球惑星科学を議論するための場を提供することにより、国際連携を積極的に進め、我が国はもとより世界の地球惑星科学コミュニティを活性化する。同時に、この分野の発展を通じて社会の安定的未来に貢献する。」とすることが認められた。

Mission statementの前半の部分については連合会長、副会長、前会長、元会長で改訂した文章を準備していくことが報告された。

2. グローバル会議のワーキンググループの名前が(英語名)Working Group for Collaborations with Asian and Pacific Academic Societies、(日本語名)アジア太平洋協力作業部会となったことが報告された。

ワーキンググループ設置に伴い下記、3名が担当委員となることが認められた。

津川卓也 情報通信研究機構電磁波研究所 宇宙環境研究室

久保田尚之 東京大学大気海洋研究所

松本淳 首都大学東京大学院都市環境科学研究科地理環境科学専攻

ワーキンググループの活動内容については年度末までに、目途を具体化することが報告された。

3. プレジデンシャルレセプションについてはグローバル戦略委員会で内容を詰めて検討事項の承認については理事会で行うこととした。

(7-1)JpGU2017年大会準備タスクフォース報告

末廣潔 TF 主査不在の為、事務局の白井より、前回第3回理事会以降の活動状況と活動方針について代理で報告があった。AGUからのセッション提案については順調で、セッション提案のAGU

側からの促進については連携中であるとのことだった。

ジョイントプログラム委員会の活動が開始したことが報告された。基調講演に関して、AGU 側からは全米科学アカデミー会長 (Marcia McNutt) さんに交渉中であると報告された。

(8) 浜野洋三理事 (大会運営担当) 職務報告

2017年大会はJpGU-AGU Joint MeetingとしてAGUとの共同開催となり、千葉県幕張メッセにて、2017年5月20日(土)～25(木)の間、2016年大会より一日長い6日間開催され、会場の規模も大きくなることが報告された。

現在(9月1日(木)～10月13日(木))はセッション提案の募集中である。AGUとの合同開催ということから、セッション数・人数とも2割増しを見込んで部屋等用意している。セッション提案は10月13日17時締切なので、ぜひセッション提案を周辺の皆さんに宣伝してほしいとの発言があった。

(9) 西理事 (教育担当理事) 職務報告 地学オリンピック開催報告

8月20日から27日まで三重県津市にて開催された地学オリンピックについて西理事(瀧上理事の代理)より報告があった。今年は過去最多の26か国(イタリア大会と同じ)の参加があり盛況のうちに行うことができた。メダル数は日本としては過去最高の成績(金メダル3個、銀メダル1個)であった。

(10) セクション活動報告

サイモンウォリス理事(固体地球科学セクション)より日本人のAGU awardについて、高橋栄一氏が Fellow に、唐戸俊一郎氏が Lehmann medal を受賞することになったとの報告があった。

(11) 環境災害対応委員会活動報告

8月27日(土)、28日(日)開催の第1回防災推進国民大会出展について、高橋幸弘連絡委員の代理(川幡会長)より報告があった。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(18時5分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 28 年 9 月 30 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 4 回理事会

出席理事 川幡 穂高 印

出席理事 津田 敏隆 印

出席理事 田近 英一 印

出席理事	古村	孝志	印
出席理事	井出	哲	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	原田	尚美	印
出席理事	道林	克禎	印
出席監事	鈴木	義和	印